

平成 20 年度事業経過報告書

1. 総務部

(1) 行事

- ・ 通常総会を開催

日時:平成 20 年 5 月 12 日(金)午前 10 時～10 時 40 分

場所:東京都 東京大学弥生講堂

- ・ 理事会を開催

第 1 回: 5 月 12 日(金) 学士会分館

第 2 回: 8 月 26 日(火) 富士屋ホテル

第 3 回: 3 月 6 日(金) 学士会館

第 4 回: 4 月 24 日(金) 日本青年館

- ・ 幹事会を開催

第 1 回: 6 月 27 日(金) 学士会分館

第 2 回: 8 月 26 日(火) 富士屋ホテル

第 3 回:11 月 28 日(金) 東京国際フォーラム

第 4 回: 3 月 6 日(金) 学士会館

(2) 庶務委員会

- ・ 各部・各支部間の調整
- ・ 議事資料および議事録の作成

(3) 財政委員会

- ・ 平成 21 年度予算書(案)および平成 20 年度決算書を作成

(4) 広報委員会

- ・ HP内容の更新および情報の充実と拡大

(5) 法人対応委員会

- ・ 公益法人法の改正に伴う学会の組織及び社会貢献活動に関する検討

2. 事業計画部

(1) 行事

平成20年度総会・シンポジウムの開催

日 時:平成 19 年 5 月 12 日(金)午前 10 時 00 分～午後 17 時 00 分

会 場:東京都 東京大学弥生講堂一条ホール

テーマ:最近の大規模地震と地すべり

意見交換会:学士会分館

第 47 回研究発表会及び現地見学会(神奈川)の開催

- ・ 県民講演会

日 時:平成 20 年 8 月 26 日(火)

会 場:神奈川県箱根町 湯本富士屋ホテル

- ・ 研究発表会

日 時:平成 20 年 8 月 27 日(水)～8 月 28 日(木)

会 場:神奈川県箱根町 湯本富士屋ホテル

- ・ 現地見学会

日 時:平成 20 年 8 月 29 日(金)

見学地:①コース:箱根一周コース, ②コース:箱根・丹沢コース

部会の開催

平成 20 年 4 月 18 日、6 月 13 日、7 月 27 日、8 月 28 日、12 月 17 日、

平成 21 年 2 月 20 日

(2) 研究発表会の準備・実施

- ・ 大会講演集の作成
- ・ 開催県(地)に於ける準備及び部会, 幹事会, 実行委員会出席
- ・ 研究発表会の実行委員会と大会運営

(3) シンポジウムの準備・実施

- ・ シンポジウムのテーマの決定, 講演集の作成
- ・ シンポジウムの大会運営

(4) 若手ワークショップ助成の実施

- ・ 1件

3. 研究調査部

(1) 研究委員会

平成 20 年度助成金対象研究委員会は以下の①～③の3委員会ですが, 平成 20 年度より地震地すべり特別プロジェクトが承認されたことを受け, ③の研究委員会は当面凍結, ②の委員会は活動は続けるものの助成金を大幅に減額しての活動となりました。

①発展途上国における地すべり災害の危険度軽減研究委員会:代表 丸井英明・・・3年目

②すべり面の地質的特徴及び構造・物性等の実態に関する研究委員会:

代表:山田正雄・・・・・・・・・・・・ 新規

③すべり面推定精度に合わせた地すべり対策工計画・設計手法の検討委員会:

代表:檜垣大助・・・・・・・・・・・・ 新規(保留・延期)

(2) 受託業務

平成 20 年度に実施した受託業務はありませんでした。

(3) 緊急災害調査

平成 20 年 6 月 14 日に発生しました岩手・宮城内陸地震の緊急災害調査については, 東北支部のメンバーを中心とした緊急災害調査を実施しました。調査内容は学会 HP および学会誌に掲載されています。

①岩手・宮城内陸地震による斜面災害緊急合同調査

(土木学会, 地盤工学会, 地震工学会と合同)

日程:平成 20 年 6 月 15 日(日)

現地:荒砥沢地すべり地内およびその周辺地域(現地調査)

団員:檜垣大助(弘前大学, 東北支部長), 宮城豊彦(東北学院大学), 梅村 順(日本大学), 加藤 彰((株)テクノ長谷), 高見智之(国際航業(株)), 濱崎英作((有)アドバンテクノロジー),

②岩手・宮城内陸地震による斜面災害緊急調査(第1回)

日程:平成 20 年 6 月 18 日(水)

現地:荒砥沢地すべり地内およびその周辺地域(ヘリ・セスナによる調査)

団長:檜垣大助(弘前大学, 東北支部長)

団員:阿部真郎(奥山ボーリング(株)), 井良沢道也(岩手大学), 濱崎英作((有)アドバンテクノロジー), (林 信太郎(秋田大学))※非学会員, 福岡 浩(京都大学), 丸井英明(新潟大学, 会長), 宮城豊彦(東北学院大学), 八木浩司(山形大学), 山崎孝成(国土防災技術(株)), 渡部直喜(新潟大学), その他京都大学防災研の方4名

③岩手・宮城内陸地震による斜面災害緊急調査(第2回)

日程:平成 20 年 6 月 22 日(日)

現地:荒砥沢地すべり地内およびその周辺地域(現地調査)

団長:檜垣大助(弘前大学, 東北支部長)

団員:阿部真郎(奥山ボーリング(株)), 井上 隆(防災科学技術研究所), 井良沢道也(岩手大学), 梅村 順(日本大学), 大場 司(秋田大学), 加藤 彰((株)テクノ長谷), 佐藤 剛(帝京平成大学), 田村敏和(立正大学), 千葉則行(東北工業大学), 濱崎英作((有)アドバンテクノロジー), (林 信太郎(秋田大学))※非学会員, 福岡 浩(京都大学), 丸井英明(新潟大学, 会長), 宮城豊彦(東北学院大学), 八木浩司(山形大学)

④岩手・宮城内陸地震による斜面災害緊急調査(第3回)

日程:平成 20 年 7 月 6 日(日)

現地:荒砥沢地すべり地内およびその周辺地域(現地調査)

団長:檜垣大助(弘前大学)

団員:阿部真郎(奥山ボーリング(株)), 梅村 順(日本大学), 榎田充哉(国土防災技術(株)), 加藤 彰((株)テクノ長谷), 佐藤 剛(帝京平成大学), 高見智之(国際航業(株)), 千葉則行(東北工業大学), 橋本修一(東北電力(株)), 濱崎英作((有)アドバンテクノロジー), 福岡 浩(京都大学), 前田修吾((株)テクノ長谷), 三上登志男((株)復建技術コンサルタント), 宮城豊彦(東北学院大学)

(4)研究調査部会

研究調査部会を平成 20 年 8 月 26 日に神奈川県足柄下郡箱根町湯本富士屋ホテル

1F 会議室「双子」で開催し、平成 19 年度の活動報告と平成 20 年度の活動方針および研究調査部の課題について検討しました。また、平成 20 年度からスタートする地震地すべりプロジェクトについて検討しました。

4. 編集出版部

(1) 日本地すべり学会誌編集委員会

① 編集委員会の開催(12回)

② 日本地すべり学会誌第 45 巻の発刊(6回)

・特集号の企画:45(2)「航空レーザーや宇宙衛星からの測量による地形変動の把握」

45(4)「地すべりのコア診断」

45(6)「最近の大規模地すべりと地震」

・地すべり等防止法 50 周年記念座談会 45(6)「巻頭言」

・講座:「安全率を考える」

44(3)～45(6) 45(6)は座談会

・シリーズ:「空から見る日本の地すべり地形」

44(1)～

・シリーズ:「地すべり観測計器の歴史と現状」の開始 45(6)～

・フォーラム「研究室報告」 44(4)～、

コラム(談話室) 44(5)～

③ 日本地すべり学会電子ジャーナル(J-stage)の発刊

学会誌より1号遅れで発刊、会員は前号閲覧可能・非会員は1年以前閲覧可能

④ 検討中の事項

・特集号、フォーラム、シリーズ、談話室

・J-stage の利用に関しての WG(アーカイブ、印刷前の掲載など)

・投稿・査読要領の改正など

5. 国際部

(1) 国際会議:アジア太平洋地域におけるランドスライドハザードとその管理

・関連行事 2008 年 10 月 24 日～11 月 7 日 市民向け・国別報告パネル展(宮城県庁舎 1,2 階ホール)

・本会議 2008 年 11 月 11 日～12 日 発表件数:85 件 参加者数:27 カ国 170 名(東北学院大学土樋キャンパス)

・本会議巡検 2008 年 11 月 12 日～15 日 岩手・宮城内陸地震地域、福島県滝坂地すべり、新潟県中越地震被災地など 参加者数 40 名

・関連行事 2008 年 11 月 12 日 国別報告市民公開セッション 発表件数 6 件 参加者数 200 名

・2008 年 11 月 “Proceedings of the International Conference on Management of Landslide Hazard in the Asia-Pacific region”の発行

・ポスター印刷・配布 国別報告市民公開セッション資料として

(2) The First World Landslide Forum, Tokyo 2008 年 11 月 17 日～21 日 共催

(3) 国際交流活動

- ・ ICL 第7回年次報告会出席(東京、11月開催)会長が出席。

(4) 国内情報広報活動

日本地すべり学会誌「ニュース/国際部」へのニュースの掲載(Vol.45,5編)

6. 表彰委員会

(1) 学会賞受賞(論文賞・谷口賞・研究奨励賞)の審査

<推薦締め切り:平成20年5月31日(水)>

第1回(平成20年2月26日)、第2回(6月9日)、第3回(7月24日)

(2) 授賞式 日時:平成20年8月27日(水)

場所:神奈川県箱根町 湯本富士屋ホテル

・ 論文賞

受賞者:正会員 若井明彦[群馬大学]

受賞論文:「地震時の地すべり挙動予測と数値解析」に関する一連の研究

・研究奨励賞

受賞者:正会員 岡田康彦[独立行政法人森林総合研究所]

受賞論文:「土砂流実験における間隙水圧の動的変化と流下土砂の運動特性」ほか一連の実験研究

(3) 谷口賞 該当者なし

8. 各支部の行事

(1) 北海道支部

① 支部総会

平成20年4月25日(金)に北海道大学クラーク会館(札幌市)において開催した。

② 北海道支部 設立30周年記念式典および記念講演, シンポジウム

支部総会後に記念式典, 講演, シンポジウムを行った。

・ 記念講演

「地すべり変動から流域動態、そして流域防災へ」

北海道大学名誉教授、NPO 法人環境防災総合政策研究機構 新谷 融 理事

・ シンポジウム

「最近の地すべり災害 — 調査・対策と減災教育 —」

研究委員会、技術委員会、企画委員会からの話題提供

③「CD 資料集 北海道の地すべり研究30年」の編集・発行。

④ ホームページ運営

⑤ 現地検討会

日 時:平成 20 年 9 月 5 日(金)……日帰り

テーマ:北湯沢地域の変質・河川浸食を被る地すべり地の特徴と防止対策

参加者:36 名(意見交換会 20 名)

参加費:5,000 円(意見交換会費 3,000 円は別途)

見学地

- ・北湯沢地域の地質巡検

(案内者:北海道立地質研究所 垣原 康之 氏)

- ・壮瞥町幸内地区の地すべり

(案内者:上山試錐工業株式会社 上戸 喜久夫 氏)

- ・壮瞥町幌別硫黄鉱山

(案内者:北海道立地質研究所 遠藤 祐司 氏)

⑥ 技術講習会

平成 20 年 11 月 4 日(PM1:30~4:30)に自治労会館にて、「現場に役立つ地すべり調査事例の紹介」と題し、4名の講師により、現場に即した調査・解析ノウハウを中心とした講習会を実施した。

⑦技術委員会

- ・第1回委員会

日時:平成 20 年 7 月 18 日(金) 14:30~17:00

話題提供

- ・2006 年丸瀬布天神地すべりの地すべり面粘土と地すべり(狭義)
- ・崩壊堆積物中の蛇紋岩、スレートおよび硬質砂岩起源粘土の粘土鉱物

北見工業大学 前田 寛之 教授

- ・第 2 回委員会

日時:平成 21 年 1 月 23 日(金) 14:30~17:00

話題提供

『調査・設計から施工まで 1 事業を通じて』 株式会社シビテック 柴田 純

⑧研究委員会

- ・平成 20 年度第1回(通算 45 回)委員会

日 時:平成 20 年 8 月 1 日(金曜日) 15 時 30 分~17 時 30 分

話題提供

渡邊 司(株シン技術コンサル)

「地貌図の活用方法~地すべり地形の把握を例として」

- ・平成 20 年度第 2 回(通算 46 回)委員会

日 時:平成 21 年 3 月 6 日(金曜日)15 時 30 分～17 時 30 分

話題提供

- ・田近 淳(北海道立地質研究所)
「2008 年岩手・宮城内陸地震災害の調査に参加して」
- ・石丸 聡(北海道立地質研究所)
「北海道重点領域特別研究(H21～23 年度)」の紹介
- ・伊藤陽司(北見工業大学)
「オホーツク某所での岩塊崩落の試験的調査」

⑨企画委員会

- ・北海道地質調査業協会設立 50 周年記念行事における地すべり模型展示と実演
2008 年 10 月 25 日、26 日にサッポロファクトリーにて開催された北海道地質調査業協会設立 50 周年記念行事において、地すべり模型および地表伸縮計模型の展示実演を行った。
- ・北海道岩見沢農業高校における地すべり防災教室
2008 年 11 月 14 日に北海道岩見沢農業高校森林科学科の3年生 40 名を対象に、地すべり防災教室を行った。防災教室では、公共事業の社会的役割、地すべりの発生機構、調査方法、対策工の説明、防災の日頃の備えなどの授業と地すべり模型、地表伸縮計模型、パイプ歪計、地下水位計模型を使った実習を行った。
- ・第1回斜面防災世界フォーラムにおける地すべり模型展示と実演
2008 年 11 月 18 日～21 日に東京渋谷国連大学にて開催された第1回斜面防災世界フォーラムにおいて、地すべり模型および地表伸縮計模型の展示実演を行った。
フォーラム参加者(国際的地すべり研究者がほとんど)を対象にした機器展示と、新潟県山古志村、愛媛県西条市の子供たちを対象にした市民公開フォーラムにて、機器の実演を行った。

⑩支部運営委員会

- :第 1 回 平成20年6月18日(水)に開催
- :第2回 平成21年2月23日(月)に開催

(2)東北支部

イ)総会・意見交流会

- ・総会
平成20年6月6日(金)、東北学院大学土樋キャンパス「押川記念ホール」において、約70名の参加のもとに開催。総会では、平成19年度事業報告、同収支決算・会計監査報告、平成20年度事業計画、同予算案の審議が進められ、各議案とも原案どおり満場一致で承認。
- ・意見交流会

総会后、仙台市内の仙台国際ホテルで特別講演会講師、地すべり研究発表会話題提供者も交え、会員同士の意見交換を行った(参加者約30名)。

ロ)特別講演会・地すべり発表討論会

東北学院大学キャンパス内で開催し、約70名参加。「気候変動と斜面災害」をテーマに、特別講演「ヒマラヤ地域の氷河湖形成とその決壊洪水の現状」(北海道大学低温科学研究所 元助教授 山田知充氏)、及び発表討論会(日本大学工学部 梅村順氏、東北学院大学 宮城豊彦氏、弘前大学 檜垣大助氏の発表)が行われた。その後討論会を実施。

ハ)平成20年岩手・宮城内陸地震の緊急調査

平成20年6月14日(土)午前8時43分に同地震発生。同日夕方に仙台市内で支部緊急会議を開催して緊急災害調査団を結成。以下にその後の支部の動きを記す。

- ① 地震発生の夕方、本学会・土木学会・地盤工学会・地震工学会の4学会(本部)による合同調査団を結成。翌15日(日)に現地調査を実施。同日夕方に東北大学内にて緊急報告会(記者発表)を開催。本学会のメンバーは支部会員を中心に構成して合同調査に参加。
- ② 6月18日(水)に丸井会長も参加しての本部によるヘリ搭乗調査を実施し、夕方報告会を東北工業大学キャンパス内にて開催。報道関係者公開。
- ③ 6月20日(金)に都内で4学会(本部)による合同調査団の報告会を実施し、調査メンバーの宮城豊彦会員が報告。丸井会長も同席。
- ④ 6月22日(日)に支部緊急調査団(本部からのメンバーも加え)による現地調査を実施。夕方、仙台市内の㈱テクノ長谷社屋内にて、記者発表会を開催。
- ⑤ 6月23日(月)午前に仙台市民会館にて「四川大地震、岩手・宮城内陸地震の山地災害に関する報告会」を開催。宮城豊彦会員、中国・成都理工大学副学長 黄教授の2氏が報告。
- ⑥ 6月23日(月)午後に仙台市内で本学会東北支部、地盤工学東北支部、および日本地すべり学会東北支部、さらに(社)東北建設協会を加えた4学協会の代表者で、平成20年岩手・宮城内陸地震の被害に関する合同調査実施について話し合わせ、「4学協会合同調査委員会」発足に向けて準備する方向で一致。
- ⑦ 7月2日(水)に上記の4学協会の代表者(幹事・班長以上の候補者)が集まり、平成20年岩手・宮城内陸地震4学協会東北合同調査委員会第1回会議を開催。組織体制、発足趣意書、予算などについて話し合わせ、同合同調査委員会が正式発足。
- ⑧ 支部緊急調査団による現地調査を7/5～6、7/19、7/22、8/12の合計4回を実施。荒砥沢ダム上流と磐井川周辺。入山規制が厳しく、他の地域での調査が困難な状況。調査報告は学会誌、またホームページで公開済み。その後、9月に入って小グループで荒砥沢地すべり、磐井川流域を対象に2回ほど調査を実施。
- ⑨ 10月9日(木)に平成20年岩手・宮城内陸地震4学協会東北合同調査委員会第2回会議を開催。合同調査の中間報告会が行われ、年末までに中間報告をまとめる方針が決定。

- ⑩ 1月14日(水)に4学協会による「平成20年岩手・宮城内陸地震の被害に関する合同調査」拡大班長会議を行い、中間報告書(3月末原稿締切り)の内容を審議。また6月13日(土)に仙台市内において合同調査委員会の報告会の開催が決定。

ニ) 2008年国際会議(仙台開催)

日本地すべり学会主催の国際会議およびその関連行事が、昨年11月11日(火)～15日(土)の五日間にわたって開催された。本会議は初日及び二日目にわたって東北学院大学土樋キャンパス8号館、押川記念ホールで行われ、また三日目からは国外者向けの巡検(13日宮城県、14日福島県、15日新潟県)が行われた。

ホ) 市民向け講演会・パネル展

国際会議の本会議に併せ、支部主催、東北整備局・宮城県・((社)東北建設協会との共催で、市民向け普及活動行事として実施。市民向け講演会は11月7日(金)午後に「東北地方における水害の記憶を次世代に伝承」—もう一つの水害としての地すべり—”東北と世界の地すべり災害に学ぶ”をテーマに、仙台市内の仙台ガーデンパレスにて開催((社)東北建設協会から助成)。講演者は八木浩二氏、濱崎英作氏で、聴衆者約100名。パネル(約20枚)展は宮城県庁ロビー1階を会場に10月24日(金)～11月7日(金)の二週間にわたって開催。

ヘ) 市民向け国別報告シンポジウム・パネル展

国際会議の本会議に併せ、支部主催の市民向け広報行事として実施した。市民向け国別報告シンポジウムは11月12日(水)午後に「アジア太平洋地域での河川・土砂災害の防止・管理・国際協力推進に関する市民向けカンントリーレポートシンポジウム」をテーマに東北学院大学土樋キャンパス押川記念ホールで開催((財)河川環境管理財団から助成)。一般市民約60名参加。またパネル(約30枚)展も同ホール内で11月11日(火)・12日(水)の二日間にわたって開催。また国別報告に関するポスター(和訳版)の縮小版と岩手・宮城内陸地震関連のポスターの編集版を合わせて編集し、ポスター資料として無料配布。A-1版両面印刷 500部。

ト) 国際会議関連の現地見学会およびアジア各国との技術交流会

国際会議の本会議に併せ、11月13日(木)に国内者を対象とした岩手・宮城内陸地震による斜面崩壊地の現地見学会を開催(参加者40名)。一迫川の浅布・小川原地区、また荒砥沢地すべりを視察した。また翌14日(土)には、アジア三国(タイ・ラオス・ネパール)との技術交流を目的として、磐井川沿いの市野々原地区などの見学会を開催(参加者10名)。

チ) 各種調査委員会

- ① 地すべり地形危険度判定評価手法の応用とGISデータベース化に関する研究委員会
特に活動なし
- ② 大規模地すべりの変遷過程と発生機構に関する研究委員会
特に活動なし
- ③ 2008年国際会議における東北の地すべり紹介冊子の編纂委員会
2008国際会議「アジア太平洋地域におけるランドスライドハザードとその管理」への国外・国内からの参加者、および市民向け行事開催時の一般市民に対して、東北の地すべり災害と対策の事例集を、「美しく緑豊かな東北の風土をまもり育む—地すべ

り対策事例―、桧垣大助監修」として作成し無料配布。A-4版 80ps. 250部印刷。また各国のカントリーレポート(和文版)のA1版パンフも作成して無料配布。この他、東北の主な関連事業体に頒布。

リ) 広報活動

① 支部だより

支部だより Vol.22を3月末に発行予定。トピックスとして、岩手・宮城内陸地震、および国際会議関連の行事を中心に掲載。頒布予定部数約350部。

② ホームページ

各行事開催案内、調査報告などを随時掲載し、支部会員、支部会員以外にも公開。

(4) 新潟支部

① 支部総会

開催日:平成20年5月23日(金)

場 所:新潟県民会館小ホール(新潟市中央区一番堀通 3-13)

② 第36回 地すべりシンポジウム

主 催:(社)日本地すべり学会 新潟支部

共 催:(社)地盤工学会 北陸支部

後 援:新潟県, (社)新潟県地質調査業協会, (社)斜面防災対策技術協会新潟県支部

開催日:平成20年5月23日(金)

場 所:新潟県民会館小ホール(新潟市中央区一番堀通 3-13)

テーマ:「新潟県の地すべり災害と対策の歴史を学ぶ」

研究発表, 6編

福本安正:「いかにして「地すべり」は創られたか」

熊谷 忍:「民間の立場から地すべり対策の活動を振り返って」

中村浩之:「地すべりの長期移動観測よりみた運動メカニズムー猿供養寺地すべり試験地の歴史ー」

早川嘉一:「新潟県の地すべり災害の分析」

金子善一郎・大旗和哉:「新潟県の地すべり対策の取り組み」

古川昭夫:「新潟県内の地すべり対策技術開発の先駆的とりくみに学ぶ」

参加者:シンポジウム 101名, 意見交換会:47名

③ 第36回 地すべり現地検討会

主 催:(社)日本地すべり学会 新潟支部

共 催:(社)地盤工学会 北陸支部

後 援:新潟県, (社)新潟県地質調査業協会, (社)斜面防災策技術協会新潟県支部, 新潟県地すべり防止工事士会

開催日:平成 20 年 9 月 26 日(金)
見学地:新潟県柏崎市「米山町地すべり」
案内者:新潟県柏崎地域振興局地域整部, 株式会社興和
検討会場:柏崎市民プラザ(柏崎市東本町 1-3-24)
テーマ:「新潟県中越沖地震と地すべりー米山町地すべりー」
参加者:91 名

④ 「新潟県地すべり災害記録 CD 改訂版」の出版

2008 年版:平成 20 年 5 月 23 日出版

2009 年版:平成 21 年に発生した地すべり災害記録を追加し, 平成 21 年 5 月 22
日出版予定

⑤ 「第 48 回研究発表会及び現地見学会(新潟大会)」の準備

平成 21 年 8 月 25 日～28 日に開催される研究発表会及び現地見学会の円滑な
運営を図るために, 実行委員会, 幹事会, 事務局を設置。

⑥ 新潟支部ホームページの管理・運営

支部の活動, 行事, 出版物等の情報を発信。

URL <http://www.landslide-niigata.org>

⑦ 会議記録

役員会:第 1 回 平成 20 年 9 月 5 日 23 名出席
:第 2 回 平成 20 年 12 月 12 日 16 名出席
:第 3 回 平成 21 年 5 月 1 日(予定)
幹事会:第 1 回 平成 20 年 7 月 18 日 15 名出席
:第 2 回 平成 20 年 9 月 5 日 18 名出席
:第 3 回 平成 21 年 2 月 27 日 17 名出席

⑧ 研究発表会関係会議記録

準備委員会:第 1 回 平成 20 年 8 月 1 日 6 名出席
:第 2 回 平成 20 年 9 月 19 日 10 名出席
:第 3 回 平成 20 年 11 月 14 日 9 名出席
実行委員会:第 1 回 平成 20 年 12 月 12 日 21 名出席
幹事会:第 1 回 平成 21 年 1 月 10 日 10 名出席

(5) 関東支部

① 平成 20 年度(社)日本地すべり学会関東支部総会・シンポジウム・意見交換会

開催日時:平成 20 年 6 月 13 日

開催場所:東京大学工学部武田先端知ホール

参加者 :シンポジウム:113 名, 意見交換会:45 名

講演:「四川省汶川大地震・地すべり災害報告」

群馬大 鶴飼先生, 蔡先生, 国土防災技術(株) 山田氏

講演:「大規模な地すべり・崩壊の発生場に関する2・3の私見」

千葉大学名誉教授 古谷尊彦 先生

② (社)日本地すべり学会関東支部 現地検討会

日時:平成 20 年 11 月 25 日(火)

場所:群馬県甘楽町内久保地内

—平成 19 年台風 9 号で発生した内久保地すべり—

参加者:25 名

③ 第 47 回研究発表会

開催日:平成 20 年 8 月 26 日(火)～平成 20 年 8 月 29 日(金)

開催場所:メイン会場 湯本富士屋ホテル(研究発表会等)

サブ会場 神奈川県立生命の星・地球博物館(県民講演会)

主な日程:

8 月 26 日(火)	14:00～16:00	県民講演会(中・高生対象)
8 月 27 日(水)	9:00～10:00	受付
	10:00～10:40	開会式, 表彰式
	10:40～12:00	特別講演
	13:00～17:00	研究発表会
	18:00～20:00	意見交換会
8 月 28 日(木)	9:00～17:00	研究発表会
	17:00～17:15	閉会式
8 月 29 日(金)	8:00～17:00	現地見学会

④ 日中地すべりシンポジウムの開催

研究発表全国大会 特別セッションでの発表

発表者: 成都理工大 許強教授

演題: 四川汶川大地震による地質災害の分布パターンおよび
大規模地すべり災害の動的特長

⑤ 災害協定

○ 国土交通省関東地方整備局

具体的な運用体制作り

○ 群馬県森林保全課

検討中

⑥ 支部会員発信のニューズレターの発行

No3 平成 21 年 3 月 5 日

⑦ 会議記録

運営委員会

- 第1回 平成 20 年 5 月 19 日 出席者:8 名 (場所 国土防災技術(株)本社会議室)
第2回 平成 21 年 3 月 2 日 出席者:8 名 (場所 国土防災技術(株)本社会議室)

幹事会

- 第1回 平成 20 年 5 月 19 日 出席者:19 名 (場所 国土防災技術(株)本社会議室)
第2回 平成 20 年 12 月 22 日 出席者:18 名 (場所 国土防災技術(株)本社会議室)
第3回 平成 21 年 1 月 16 日 出席者:14 名 群馬県庁 17 回 172 会議室
第4回 平成 21 年 3 月 2 日

⑧ 第 47 回研究発表会関連

会議記録

実行委員会

- 第 2 回 平成 20 年 8 月 26 日 出席者:17 名(場所 箱根町湯本富士屋ホテル)

幹事会

- 第 3 回 平成 20 年 6 月 30 日 17 名(場所 国土防災技術(株)本社会議室)
第 4 回 平成 20 年 7 月 30 日 19 名(場所 国土防災技術(株)本社会議室)

作業部会

- 第 2 回 平成 20 年 6 月 30 日 17 名 (場所 国土防災技術(株)本社会議室)
第 3 回 平成 20 年 7 月 30 日 32 名 (場所 国土防災技術(株)本社会議室)

合同最終会議(報告会)

平成 21 年 1 月 16 日

神奈川県横浜西合同庁舎

(6) 中部支部

① 中部支部総会

日 時:平成 19 年 5 月 9 日(金)

場 所:長野市サンパルテ山王

② 特別講演会

日 時:平成 20 年 5 月 9 日(金)

場 所:長野市サンパルテ山王

参加者:145 名

演 題:「事故・災害論と社会資本整備論」

元信州大学工学部教授 長 尚 氏

③ 現地見学会および検討会.

日 時:平成 20 年 10 月 15 日

見学地:「水須地区地すべり」(富山県富山市水須)

参加者:67 名

案内者:土屋 智副支部長, 富士砂防事務所

検討会:富山県民会館

座長:荒井 涼副支部長

④ 10 周年記念シンポジウム

日 時:平成 20 年 10 月 22 日(水)

場 所:ホテルメトロポリタン長野

参加者:272名

- ・ 子供シンポジウム

長野県中条村立中条小学校 5, 6年生

- ・ 基調講演

「地震による大規模斜面災害」

土屋 智 (静岡大学農学部教授)

- ・ パネルディスカッション

テーマ 「これからの地すべり対策に向けて」

出演者(パネリスト)

川上 浩(信州大学名誉教授)

近藤 浩一((財)砂防・地すべり技術センター専務理事)

佐藤 知章(長野県土尻川砂防事務所長)

内藤 哲(NPO 長野県地すべり防止工事士会理事長)

大場 勝一郎(日本工営(株))

⑤ 中部支部ニュース 発行

日 時:平成 21 年 3 月 31 日(火)

(7) 関西支部

- ・ 第1回運営委員会

日 時:平成 20 年 4 月 3 日 13:30~16:00

場 所:京都大学化学研究所ゼミナール室(1F・D-1103)

- ・ 関西支部シンポジウム「地震時の盛土地盤の地すべり」

日 時:平成 20 年 6 月 6 日 10:00~17:00

会 場:大阪建設交流館8階グリーンホール

主 催:(社)日本地すべり学会関西支部

後 援:(社)砂防学会・(社)地盤工学会関西支部

① 特別講演「盛土地盤の防災」

国土交通省九州地方整備局 渋谷 和久

② 話題提供

(1)「高精度な人口改変データの作成と精度評価手法」

国土地理院地理地殻活動研究センター 小荒井 衛

(2)「盛土のスクリーニング手法と現地調査」

日本工営株式会社国土午前事業部防災部 上野 雄一

(3)「宅地谷埋め盛土の地震時安定評価」

国土防災技術株式会社技術本部技術部 榎田 充哉

③ パネルディスカッション

- ・ 関西支部総会 平成 20 年 6 月 6 日 11:40~12:10 於:大阪建設交流館8階グリーンホール

- ・ 関西支部現地討論会「紀伊山地における四万十地すべり」

開催日:平成 20 年 10 月 6・7 日

見学地:奈良県国道168号宇井地区地すべり

国道168号折立地区地すべり

主催:(社)日本地すべり学会関西支部/日本応用地質学会関西支部

後援:(社)砂防学会・(社)地盤工学会関西支部・国土交通省近畿地方整備局・奈良県

① 特別講演「紀伊山地を中心とした四万十帯の斜面形成と安定問題」

京都大学防災研究所教授 千木良雅弘

② 話題提供

(1)「宇井地すべりの発生とその対応ー地すべり崩落予測が的確に実施出来た被災事例ー」

日本工営(株) ○岡田 肇・古山貴久

奈良県五條土木事務所 杉浦寛久

(2)「折立地区地すべりの地形的特徴」

日本工営(株) ○徳永 博・古木宏和

奈良県五條土木事務所 上村良則

(3)「折立地区地すべりの変動状況と機構」

日本工営(株) 山口 巖・○古山貴久

奈良県五條土木事務所 上村良則

③パネルディスカッション

・ 第2回運営委員会

日時:平成20年10月28日 13:30~16:00

会場:京都大学防災研究所所長室

・ 関西支部講習会「空中写真による地すべり地形の判読」

講師:岡田篤正(京都大学名誉教授,立命館大学歴史都市防災センター代表)

日時:平成20年12月12日(金) 10:30~16:30

会場:京都大学防災研究所3階E326D室(京都府宇治市五ヶ庄)

・ 会誌発行:"らんどすらいど" No.24 発行

① 巻頭言 支部長就任の挨拶

藤村 尚(鳥取大学大学院工学研究科)

② 宅地防災の新たな展開~減災対策とコミュニケーション~

渋谷 和久(国土交通省九州地方整備局)

③ 紀伊山地を中心とした四万十帯の斜面形成と安定問題

千木良雅弘(京都大学防災研究所)

④ 折立地区地すべりの地形的特徴

上村良則(奈良県五條土木事務所)

徳永 博・古木宏和(日本工営株式会社)

(8) 九州支部

① 第1回 幹事会

日時:平成20年5月21日 会場:北九州国際会議場

② 平成20年度支部総会・学術講演会

日時:平成 19 年 6 月 7 日 会場:北九州国際会議場

主催:(社)日本地すべり学会九州支部

共催:(社)斜面防災対策技術協会九州支部, 北九州市

後援:福岡県砂防課, 北九州市コンサルタント協会

・防災講演会

北九州市の防災対策について

北九州市消防局防災対策部長 櫛井正喜

北九州市の土砂災害対策について

北九州市消防局防災課

土砂災害警戒情報と土壌雨量指数

福岡管区気象台予報課 青木恒生

北九州市消防局防災課 山本太基

・一般講演

北九州市における有効先行降雨量と斜面崩壊との関係

西日本工業大学名誉教授 玉田文吾

北九州市消防局防災課 谷延正夫

北九州市消防局防災課 川崎優介

北九州市門司区西部における地形変遷と斜面地質

西日本工業大学名誉教授 玉田文吾

北九州市消防局防災課 谷延正夫

北九州市建設局下水道河川部 清水俊光

福岡県前原土木事務所 長野敏則

八千代エンジニアリング(株) 福塚康三郎

箱型擁壁工法による林道災害復旧工事例

箱型擁壁協会 東原健一

小型ポンプを利用した地すべり地帯におけるドレーンパイプの機能回復工法

NPO 熊本技術士の会 兼子健男

市道藤野木線における切土と法面崩壊の関係

中津市山国支所建設課 井上良太

松本技術コンサルタント(株) 松谷信二

松本技術コンサルタント(株) 井上崇

松本技術コンサルタント(株) 高松誠一郎

節理面に規制された岩盤の緩み領域の解明と崩壊の予測

国土防災技術(株)大分支店 小野征一

国土防災技術(株)大分支店 吉峰慎一

九州北部の三郡変成岩における地すべりの一例

福岡県 吉村 茂

川崎地質(株) 九州支社 直本啓祐

川崎地質(株)九州支社 加藤 靖 郎
地下水排除工劣化, 破損が及ぼす地すべりの影響
国土防災技術(株)佐賀支店 小川 伸 彦
国土防災技術(株)佐賀支店 三浦 誠
国土防災技術(株)佐賀支店 古林 正 人
国土防災技術(株)佐賀支店 荒砂 隆 文
旧地すべり土塊掘削による法面崩壊とその対策
八洲開発(株) 下田 真 也
宮崎層群における拡孔支圧型アンカー工
(株)メック宮崎 吉田 聡 司
サンスイエンジニアリング(株) 長木 大 剛

③ 現地見学会

日時:平成 20 年 5 月 22 日 福岡県北九州市内

④ 日本地すべり学会九州支部現地検討会

ー 沖縄における地すべりに関する諸問題ー

日時:平成 21 年 2 月 20 日 会場:琉球大学研究者交流施設・50周年記念館:
沖縄県安里地すべり, 森川地すべり

主催:(社)日本地すべり学会九州支部, 琉球大学農学部農地・防災工学研究室
後援:琉球大学島嶼防災研究センター, (社)斜面防災対策技術協会九州支部

⑤ 平成 22 年度の日本地すべり学会第 49 回研究発表会及び現地見学会の開催地について検討し, 沖縄での開催を決定した。(メール会議)